

【学校教育目標】「感謝の心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



学校だより 堂崎つ子

第 19 号

令和 6 年 12 月 4 日

南島原市立堂崎小学校

校 長 末吉 優

持久走大会 → おいもタイム 12月3日(火)

12月1日(日)の 有家・西有家地区青少年健全育成協議会主催の「有家・西有家地区体力づくりマラソン大会」には、堂崎小学校から多数の参加があり、子供たちは近隣の学校の同級生と健脚を競いました。

多くの応援ありがとうございました。一つ大きな自信となったことは間違いありません。

さて、12月3日(火)は、本校の持久走大会を開催しました。スタートラインを勢よく飛び出した子供たちは、大苑へ向かう上り坂を息を切らして駆け抜けます。沿道には「頑張れー、ファイトー」などの声援と大きな拍手。折り返し地点で折り返すと、今度は下り坂。思っている以上のスピードが出ます。本当はペース配分が難しいのですが、家族や地域の方々の力強い応援により、もっている力以上の「底力」が発揮されたようです。また、多くの好記録が生まれました。

本部役員の皆様には午前中から家庭科室でふかし芋を作っていただきました。家庭科室から漂うおいしそうなおい。午後の持久走大会をがんばろうという気持ちがあったことでしょう。走り終えた子供たちは、ふかし芋をお世話いただき、おいしそうにほおばっていた姿が印象的でした。保護者の皆様には、コースの安全管理にも御協力いただき、感謝申し上げます。



< ふかし芋づくり >



< PTA会員の方々へ配布 >



4年生 社会科見学：本物から学ぶ

11月19日(火)

口之津歴史民俗資料館と口之津小学校となりの貝瀬浄水場の見学を行いました。口之津歴史民俗資料館では、口之津港の歴史と南有馬町出身で古野電気創始者の古野兄弟の功績等について理解を深めました。

浄水場では、ろ過装置や機械化された様々な装置について説明を受けました。浄水施設の仕組みや人々の健康な生活を守るための仕組みや工夫・努力について学習しました。地域の文化や先人の働きなどを知り、郷土学習の理解を深め、貴重な学びの場になりました。



11月20日（水）6年生講演会

南島原市商工会女性部・青年部の主催で、市内小学校6年生を対象に、「植松電機 社長 植松 努 氏 講演会」が開催されました。植松様は、みなさんご存知かと思いますが、テレビで放送された「下町ロケット」のモデルになった方です。今回の講演会は、以下のようなねらいのもと、開催されました。

- ・夢を持つことの重要性を伝え、「魔法の言葉」に触れて自己肯定感を高める。
- ・チャレンジ精神を育み、創造力と探求心を養う。

「思うは招く。夢があればなんでもできる。」
そして、「どうせ無理」を 「だったらこうしてみたら？」

- ・私たち(やったことのない)大人が、周りと違うことに目と意識がいき、子供たちに「あきらめ方」を教えている。自分の(大なり小なりの)夢をたくさん語ることで、関心をもつ人や助けようとする人と出会える。直接出会えない場合は、図鑑や本で出会うことができる。人の「出会い」には、運命がある。そういった言葉が印象的でした。



研究授業の様子から

< ひまわり学級：林教諭（11月18日（月）） >

自分の良さに目を向け、自分を見つめ直す。友達の良さや得意な部分を考えカードに書く。それらをクイズ形式で誰のことを紹介しているのか考えました。また、協力してゲームをすることで、自分と相手の関係を確認めながら、自尊感情を高めることができるよう楽しく活動しました。

子供の実態にあわせて、研究の視点「温かい言葉（プラスの言葉）を掛け合いながら主体的に活動する児童の姿を目指す」ことを意識した学習でした。



< 5年1組：武田教諭（11月20日（水）） >

前時まで児童は、平行四辺形、三角形の面積の求め方を学習し、今回は台形の面積の求め方を考えるという学習でした。

①台形を三角形や長方形に分けて考える。 ②台形を2つ合わせて、面積を半分にして考える。 ③台形を移動して平行四辺形にして求める。など、様々な考え方を導き、発表しました。合計8通り出たのには驚きです。

一人一人が真剣に自分の考えを出し、話し合いました。これまで学習したことを使って、形を分けたり、動かしたりして考えると面積が求められるとまとめました。次の時間は、公式を導き出し、台形の面積を求めました。



< 台形の面積の求め方の説明 >

教育講演会が開催されました 11月25日（月）

長崎県メディア安全指導員 佐藤 匠実さん 「メディアの危険性について」

①小中学生のインターネット・スマホ等の利用率の実態、②電子メディアが子供の身体に与える影響、③ネット・スマホ社会のリスク、④ネット、スマホ社会の子供たちのため ～大人がやるべきこと～ についてお話をいただきました。講演の中では、スマホ・ゲーム依存（ゲーム障害）によって起こる問題（前兆や依存する理由）に触れられました。ネット・スマホに夢中になる子供の中には、家庭や学校生活がつらい、つまらない、寂しいなどの心の隙間を埋めるために、のめり込んでいる子供たちもいることを忘れてはいけません。また、私たち大人は、「本当は何を求めているのか」について心を向けていかなければならない。さらに、子供との話し合いの際は、親として大事だと思っていることをしっかり伝えることが重要であると締めくくられました。（ダメなことはダメと伝える。子供が反発してきたら、親子関係を再構築する機会である。子供の健康や幸せを願っている。）